

第39回 SCCJセミナー開催のご案内

本セミナーは、化粧品を作るため必要な技術情報を技術者の皆様へ提供すべく取り組んで参りました。今回は、剤型にかかわらず、製品設計を行なう際に考慮すべき「品質保証」をテーマとして取り上げます。その中でも特に、安全、安心、安定な化粧品を開発し市場に提供するまでに必要な技術や知見について、皮膚科医の先生、そして、業界から六名の方々をお招きしお話しいただきます。

さらに、時間に限りのある講演の中だけでは語りつくせない情報を、講師の方々との直接の議論の中から聞き出していただくフリーディスカッションの時間もご用意いたしました。先生方と直接お話いただくことで、講演の内容理解がより深まり、また、講演を聴くだけでは得られないタネが見つけれられることと思います。皆様には、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

記

日 時 2012年2月27日(月) 10:00~17:35 (受付開始9:30)
会 場 セミナー：きゅりあん (品川区立総合区民会館) 8階 大ホール
フリーディスカッション： 同会場 7階 イベントホール
〒140-0011 東京都品川区東大井町5-18-1
www.shinagawa-culture.or.jp/

参加費	会員(正・準・シニア)	13,000円
	代理出席(注1)	13,000円
	非会員	19,000円
	当日受付(会員・非会員共に)	19,000円

(注1) 正会員1名につき代理人1名が代理出席を利用できます。
(正会員が不参加の場合)

申込方法 同封のFAX申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXを送信願います。
FAX ⇒ 045-590-6093
申込FAXを受け付けましたら、確認のFAXを事務局から発信致します。
3日~4日以内に確認のFAXが届かない場合は、事務局までご連絡をお願い致します。参加証はお送りしませんのでご了承願います。

<申込締め切り日 2月13日(月)>
<振込締め切り日 2月20日(月)>
お振込みの際、振込人氏名(御社名)の前に**39**をご記入願います。

振込先 みずほ銀行 銀座支店 普通 1797932
「日本化粧品技術者会 代表 嶋原 靖宏(シギハラ ヤスヒロ)」
キャンセルおよび複数同時のお振込みの詳細は最終ページをご覧ください。

お客様品質を目指して

— 品質保証に必要な技術・知見を学ぶ —

< スケジュール >

<総合司会 高橋 和久 (株)日本色材工業研究所 >

時 間	題 目・講 師
10:00 ~ 10:05	開会の挨拶 セミナー委員長 鈴木 裕二

<座長 吉武 裕一郎 (オープン化粧品(株)) >

10:05 ~ 10:55	皮膚科医の見地からの化粧品の安全性 和歌山県立医科大学皮膚科 教授 古川 福実先生
10:55 ~ 11:35	低刺激性製剤の開発 (株)資生堂リサーチセンター 杉山 真理子氏
11:35 ~ 12:40	昼 食 休 憩

<座長 永原 恭生(ライオン(株)) >

12:40 ~ 13:20	化粧品開発における微生物汚染対策 (1) - 使用方法からみた汚染対策 - (株)コーセー基礎研究室 微生物研究グループ 畑 毅氏
13:20 ~ 14:00	化粧品開発における微生物汚染対策 (2) - 製剤開発からみた防腐設計 - (株)マンダム 岡本 裕也氏
14:00 ~ 14:40	化粧品開発における微生物汚染対策 (3) - 製造工程からみた微生物制御 - (株)カネボウ化粧品 品質統括グループ(微生物) 福林 智子氏
14:40 ~ 14:50	休 憩

<座長 中間 康成 (株)資生堂 >

14:50 ~ 15:30	化粧品の安定性を保証するスケールアップの技術 みづほ工業(株) 高木 和行氏
15:30 ~ 16:10	化粧品GMP—その目的・意義と実施事項概要 (株)アルビオン 熊谷工場 宮田 徹氏

<総合司会 高橋 和久 (株)日本色材工業研究所 >

16:20 ~ 17:30	フリーディスカッション
---------------	-------------

17:30 ~ 17:35	閉会の挨拶 セミナー副委員長 栗山 健一
---------------	-------------------------

講演①「皮膚科医の見地からの化粧品の安全性」

和歌山県立医科大学皮膚科 教授 古川福実先生

要旨：安全性の評価は、化粧品の安全性評価に関する指針2008に準じて行うのが最も標準的であろう。皮膚一次刺激性、連続皮膚刺激性、細胞性免疫型の反応の有無を探ることは言うまでもない。最近の、「茶のしずく」石鹼による皮膚アレルギーおよび小麦関連アレルギー疾患発症に関する一連の事例は、安全とは何かを我々に問いかけている。第一に、化粧品成分に対するアレルギーが食物アレルギーに関係することが明確になった。次に、in vitro、動物実験等のレベルでの安全性やヒトでの安全性のみでなく、社会としての安全性の観点が重要であることが明確になった。

講演②「低刺激性製剤の開発」

(株)資生堂リサーチセンター 杉山真理子氏

要旨：化粧品が安全に使用できることは、品質の根幹であることは言うまでもない。化粧品の安全性は、主な適用経路である皮膚への毒性のみならず、全身への影響も含めて検討すべきであるが、製品を使用した際、単回の適用でも生じ、誰にでも生じる可能性がある「刺激性」は、製品使用との因果関係が考察しやすいので、基本的で最も考慮すべき毒性のひとつと言える。本講演では、低刺激性製剤を開発するための参考となるよう、感覚刺激性も含めた、刺激性の評価方法と評価事例を中心に述べる。

講演③「化粧品開発における微生物汚染対策（1）－使用方法からみた汚染対策－」

(株)コーセー基礎研究室 微生物研究グループ 畑毅氏

要旨：化粧品の品質設計において、微生物汚染を防止することは非常に重要でありこの設計を誤ると消費者の健康被害にも及ぶ事故を招きかねない。しかしながら多種多様な剤形・容器を有する化粧品においては汚染防止対策も画一的ではなく、製品毎にその特徴と使用方法を考慮した対応が必要となる。本講演では品質設計の際に考慮すべき微生物について述べるとともに、商品が消費者に渡ってから生ずる二次汚染の防止に向け、容器や使用方法なども含めた総合的な考え方について述べる。

講演④「化粧品開発における微生物汚染対策（2）－製剤開発からみた防腐設計－」

(株)マンダム 岡本裕也氏

要旨：化粧品を安定に使用するためには一定の防腐力が必要である。化粧品には様々な剤型があり、使用場面も多様であることから製品によって必要とされる防腐力がそれぞれ異なる。本講演では製品の防腐設計をする際の留意点として、防腐剤の特徴や他の成分から受ける防腐力への影響などを中心に述べる。また、多価アルコールなどの防腐剤以外の防腐成分についても具体例を示しながら説明する。

講演⑤「化粧品開発における微生物汚染対策（3）－製造工程からみた微生物制御－」

(株)カネボウ化粧品 品質統括グループ（微生物） 福林智子氏

要旨：不衛生なものを販売することは、違法行為であるだけでなく、消費者へ安全な商品を提供する企業責任の観点からも許されない。従って、商品への微生物混入・増殖による腐敗は防御しなければならない。近年、諸外国においても自国民の健康を守る目的で微生物基準の見直しや新たに基準制定される風潮にあり、今や微生物学的品質は安全な商品のあたり前品質といえる。従って、化粧品メーカーは危害となる微生物を知り適切な対処をしなければならない。具体的には、製品そのものの微生物制御能の付与であり、さらには製造工程の衛生管理の実行といえる。本講演では、後者を中心に解説する。

講演⑥「化粧品の安定性を保証するスケールアップの技術」

みづほ工業(株) 高木和行氏

要旨：近年、乳化製品の調製プロセスにおいて、スケールアップで問題が生じるケースが増加している。そのため、ビーカーで試作された製品と同じ品質の製品を安定して製造するためのスケールアップ技術が重要視されている。今回、乳化、分散と溶解の違いや、スケールアップに関する乳化の基礎的な話を含めて粒子径と粒度分布を中心にしたスケールアップの考え方について説明する。

講演⑦「化粧品GMP－その目的・意義と実施事項概要」

(株)アルビオン 熊谷工場 宮田徹氏

要旨：化粧品GMPは「化粧品の製造管理と品質管理に関する技術指針」として日本化粧品工業連合会の自主基準となっており、1981年に制定され、1988年の改訂を経て2007年に国際規格ISO22716を採用して再改訂された。医薬品や一部の医薬部外品と異なり、製造業の許可要件となっていないが、顧客に対して品質保証を行う意味及び国際社会の一員の観点から遵守すべきものである。本セミナーでは制定の背景・意義と実施すべき事項の概要について述べる。

〈お願い事項〉

- 振込締め切り日は2月20日(月)ですが、お申し込み後にキャンセルされる場合は、同日の**2月20日(月)**までにご連絡をお願い致します。参加費納入済みの場合には、後日返金致します。**2月21日(火)**以降にキャンセルされたときは、ご返金致しませんのでご了承ください。
- 申込書に記入された振込金額と異なる場合は、必ず事務局まで **FAX (045-590-6093)**にてお知らせ願います。入金確認業務の円滑化にご協力をお願い致します。

〈お問合せ・お申し込み先〉

日本化粧品技術者会 事務局(担当:森、内藤)

〒224-8558

神奈川県横浜市都筑区早渕2-2-1 資生堂リサーチセンター(新横浜)内

TEL:045-590-6025 FAX:045-590-6093

会場案内図

まゆりあん

品川区立総合区民会館

〒140-0011 品川区東大井5-18-1

TEL 03(5479)4100

FAX 03(5479)4110

URL://www.shinagawa-culture.or.jp/

● 交通のご案内

JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線大井町駅下車徒歩1分

